



oinanyo 通信

2023年3月号 No.68

発行所

NPO 法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

oinanyo-15@bz04.plala.or.jp

【URL】 <http://oinanyo.net/>



R4.12 珍しい餅つきに足を止めた園児たち。
お味見して欲しかったのに見せただけでごめんね



R5.1 松島の野田職員が成人式♥
お友と訪問がありご利用者さん大喜び。



恒例に成った餅つき。今年も歩道で失礼しま〜す。
お餅つきの腰の入れ方と足の踏ん張りはこうする
のです。美味しいお餅が出来ました。

クリスマスプレゼントは用意できました。↑
↓クリスマスケーキ『四角い豪華なケーキ』皆さん
であ〜だ、こ〜だと言いながら見事なチョコレート
ケーキが出来ました。ばんざ〜い bannza-i



節分で皆さんと海苔巻きの腕比べ！ご利用者さま
も職員も巻きました。半袖の職員は、入浴を終え慌
てて。具の乗せ方を教わりながら海苔巻きに挑戦。





R5.2/17 別家、三日市場 運営推進委員会議

各管理者の一年間の反省と思いを発表。

その後「おいなんよ」の歩みのビデオを見て戴き、感想では、きめ細やかな介護と斬新な『おいなんよ』である。子どもボランティアさんの力は、ご利用者さんの心を動かすナニモノでもない。お言葉戴きました。

2/21 さくらまち、松島 運営推進委員会議

別家、三日市場と同じメニューで発表を致しました。やはり感想では、「地域に寄り添い」「ご利用者さんに寄り添い」地域の力を借りながら生きた介護をしている。何といたってもチームワークが一番。



認知症研修発表会 R5.3/10

待ちに待った3度目の正直でやっと在り付けた研修発表。三人それぞれ立場の違いの発表で良かったです。個性があり三人さんご苦労様でした。また、職員の協力もご苦労様でした。そして最後の一言は「研修は振り返りが有るので、研修に行っていない職員は是非この研修を受けて下さい」～そうだねえ～



各管理者が想いと今を語る。良い職員に恵まれた各事業所です。



卒業・進学・入学の声が聞こえる季節となりました。新しい季節を迎えると心も前向きになります。
(新型コロナウイルス感染症と卒業したいですね)

コロナに関しては現場の職員の頑張りはもとより、利用者様、ご家族様、地域の皆様の温かい見守りで何とか山は乗り越えられました。大変だったと思います。けれど、それが『おいなんよ』の底力を上げたと共に更に地域に根づくことになったと考えています。改めて、全ての皆様に感謝申し上げます。

今年度は、もっと皆様と楽しめたらと希望します。「飯田で生きていて、うれしい!」と思って頂ける場面を作って行きます。ご協力をお願い致します。

理事長 佐藤敏子

編集後記 今年で12年を迎えた3.11📅 生まれた子供が小学校を卒業する。忘れることが出来ない、テレビで流れた映像が昨日のように脳裏に浮かぶ。しみじみ月日の経つ速さを感じる。海にすべて・家・人・日本の経済が流されたしまった。現在、巨大地震 100年周期に当る南海トラフのリスクが高まっている。地域インフラ、損失の拡大が想定される、事業停止が起こりうる。そのために事業所も地震BCPを作成。準備は整えつつあるが自然の力には及ばない人間の力だ。考えさせられる春でもある。(い)

